

令和7年10月9日（木曜日）

中津市立本耶馬溪中学校 長岡 杏子先生の授業です。

授業の単元は、第1学年「1次方程式」。速さ・時間・道のりに関する問題を解決することを通して、方程式を用いて求めた解が問題に適しているかどうかを考え、説明をする場面です。

速さ・時間・道のりの関係について苦手意識をもつ生徒が多いため、導入では、「文字の式」の単元で学習した速さ・時間・道のりを表す式について復習を行い、本時の学習における立式に向けた手立てを確認していました。また、本時の問題である、先に出発するAさんに、後から出発するBさんが追いつけるかどうかといった状況について生徒が具体的なイメージをもつことができるよう動画を活用するとともに、日常の事象の数学化を図り、数学の問題へとつなぐ工夫が見られました。

問題解決を図ったのち、後から出発するBさんが出発する時間に焦点を当て、出発時間を変更しても追いつくかどうかを判断させる活動を行いました。BさんがAさんの何分後に出発するかを生徒とのやり取りを通して複数の時間を出させた後、生徒が自分で決めた時間をもとに、再度、問題解決の過程を見直していました。出発する時間を遅くし過ぎると追いつかない場合も確かめられるなど、この活動を通して、生徒は統合的・発展的に考察する力を高めることができたと思われます。

ぜひ、今後も、数学的活動を通して、生徒の数学的に考える資質・能力の育成を図ってほしいと思います。

